

稲作情報 第2号

令和6年3月24日

黒部市
黒部市農業技術会議

今年も安全・安心で高品質・良食味な「黒部米」の生産に取り組もう！

1 育苗～田植えの計画策定 【米づくりノート P2参照】

育苗期間の気温や田植えに合わせた育苗計画を基に、元気な苗を植えましょう。

【コシヒカリの育苗作業の目安】

田植え予定日	比重選・種子消毒日	浸種初日	催芽日	播種日	ハウス搬出日
5/10	4/6	4/8頃	4/17	4/19頃	4/22
5/15	4/15	4/17頃	4/25	4/26頃	4/29

☞ てんたかくや富富富は、浸種～催芽の日数を2日間長くしましょう。

2 健苗育成のポイント 【米づくりノート P6～10参照】

① 種子消毒～播種～出芽

比重選

◆充実の悪い粃や、ばか苗病等の保菌粃を除去する。

比重：うるち 1.13（硫安 5.3kg/200）、もち 1.08（硫安 3.0kg/200）

※硫安による発芽障害を防ぐため、比重選後は十分に水洗いをする。

種子消毒

◆「モミガードC水和剤」による処理方法

- ・200倍液（種粃 10kg に薬剤 100g/水 200）に24時間浸漬する。
- ・薬剤は少量の水で良く練ってのり状にしてから、所定の水量で希釈する。
- ・消毒後の種粃は軽く乾かしてから浸種する。

浸種

◆発芽を揃えるため、時々、芽出し袋を上下入れ替えて、十分に吸水させる。

・水温 10～15℃で、7～10日程度。（特に、浸種初日は水温 12.5℃程度に保つ）
浸種積算温度 100℃以上が目安（てんたかく、富富富は 120℃）

・水は1～2日毎に交換する（薬剤消毒粃は浸種開始から2日間は水の交換を控える）

※水温 10℃未満や 15℃を越えると、芽の揃いが悪くなりやすく、不均一となる。

※水温が高くなる場合は、毎日水の入れ替えを行う。

※浸種桶は直射日光を避け、温度変化の少ない場所に設置する。

催芽

◆28～30℃で行い、芽の長さハト胸～2mm程度に

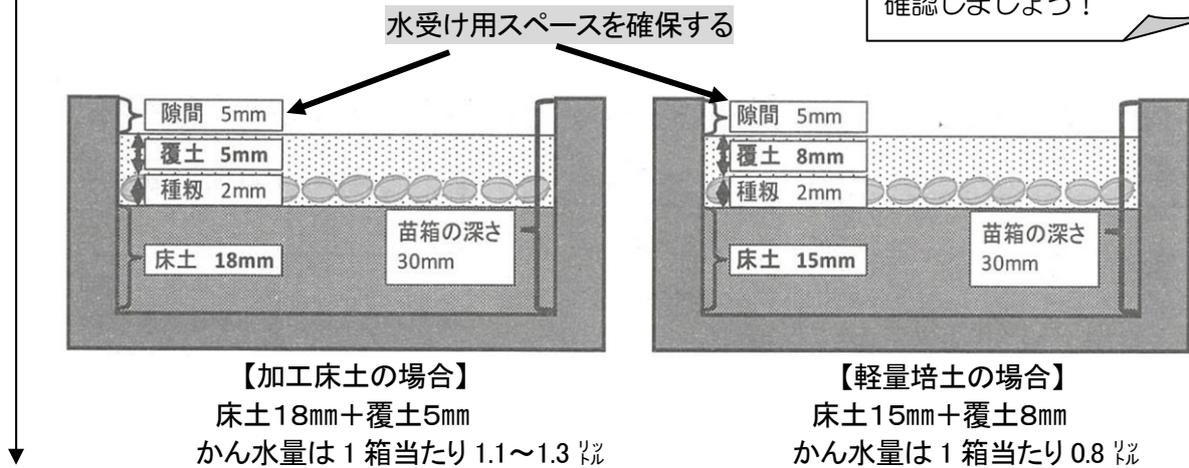
- ・30℃で1日を基本とするが、芽の揃いを確認して時間調整する。
- ・芽の長さは、ハト胸～2mm程度が目安（右図の丸枠）。
- ・催芽終了後は、速やかに冷水で芽止めを行う。
- ・水を切った後、換気できる場所で直射日光を避け、保管する。



播種 ◆播種量は乾粃 120g /箱(催芽粃は容積 190~200ml、重さ 150g)

- ・かん水は床土内部まで十分に浸み込ませる。
- ・粃が露出しないように、ムラなく覆土する。

播種前に空箱で播種量を確認しましょう！



出芽 ◆育苗器は 30℃で 2~3 日

- ・事前に育苗器のサーモスタットや温度計が正常に作動するかチェックする。

搬出 ◆芽の長さが 1 cm に揃ったら搬出

- ・搬出直後は、なるべく 5℃以下の低温や強い直射日光を避ける。
- ・かん水は搬出時の天候（高温・乾燥や低温）に応じて加減する。

② 育苗期間の温度管理

育苗期間の気温が高いと、苗は軟弱徒長となりやすく、細菌性病害も発生しやすくなります。ハウス内の温度と水管理に十分注意して下さい。

◆ハウスの温度管理の目安

	緑化期 (2~3日)	硬化期 (13~15日)	注意点
昼間	25℃以下		30℃を超えないように、早めに換気する
夜間	10℃以上。		5℃以下の低温が予想される場合はハウス内の保温に努める

3 密苗のポイント

密苗は播種量が多く、育苗日数 16 日程度で根のマット強度が十分得られますが、育苗日数が長くなると老化苗や軟弱徒長苗になりやすいので、1 回に播種する箱数は田植作業に合わせて調整しましょう。また、ハウス内の温度管理（ハウス内温度が 25℃以下となるよう、換気を徹底）に留意しましょう。

【密苗の育苗作業の目安】

田植予定日	浸種日	播種日	育苗日数
5月10日	4月13日頃	4月23日頃	17日
5月15日	4月21日頃	4月29日頃	16日
5月20日	4月29日頃	5月6日頃	14日